

第1弾『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』について

東日本大震災で失った物や失った人を、悼みながらも前へ歩もうとする南三陸町の人々。そんな彼らと故郷の姿を2011.3.11～2011.9.11の半年間、自らも被災者である佐藤信一さんが撮り続けた写真集です。なお同書は、震災に対する悲しみや怒りを淡々と表現し、同じ被災者であるからこそ撮り得たよそ行きではない人々の姿の写真が評価され、第43回 講談社出版文化賞「写真賞」を受賞しています。



<著者プロフィール>

1966年、宮城県本吉郡南三陸町生まれ。親子二代、南三陸町で写真館「佐良スタジオ」を営んでいたが、2011年3月11日、東日本大震災の津波により自宅及び写真館を失う。「一番苦しいときの写真を残す。この先、何が起きても、みんなが乗り越えられるように」と、唯一持って逃げたカメラで地震直後から失われた街が元通りになるまでの道のりを現在も撮りつづけている。

<参考:『南三陸から vol.2 2011.9.11～2012.3.11』 写真集収録内容>



【大晦日の満天の星空(志津川小学校)】



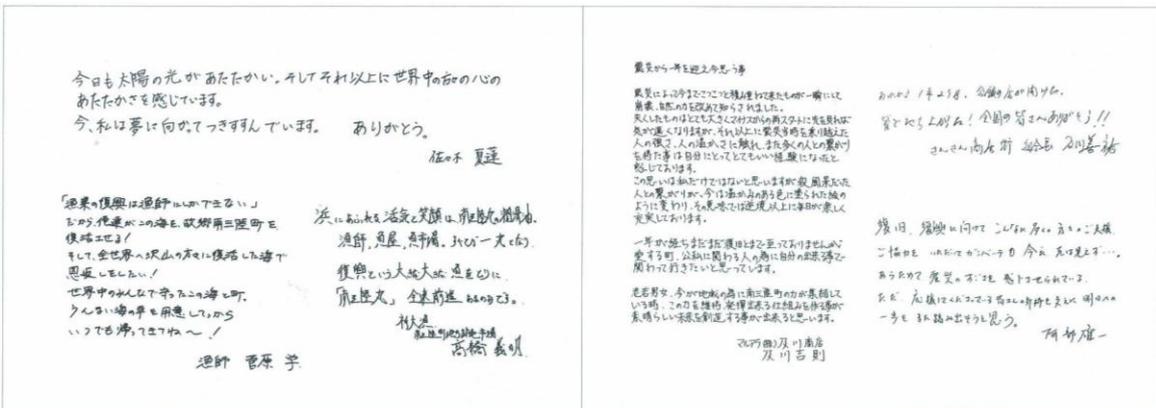
【震災前に撮影された南三陸町の写真を眺める子どもたち】



【追悼式で合掌する人々(2012年3月11日)】



【千葉のり店に貼られたメッセージ】



【現地の方々による直筆メッセージ】

本写真集に収録されたイメージ・写真をご利用の際、また、著者である佐藤信一さんへの取材等に付きましては、【お問い合わせ先】に記載の担当までご連絡ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

【報道各位からのお問合せ先】

株式会社アサツー ディ・ケイ 広報室 担当:大内 TEL:03-3547-2003 / E-mail:mskr_prj@adk.jp

<参考:第1弾『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』写真集収録内容>



<写真集概要>

『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』

著者:佐藤信一

オフィシャルサイト URL:

<http://www.minamisanriku-kara.com/>

体裁:B5判/96ページ

刊行日:2011年9月27日

定価:1,500円(税別)

*1冊につき300円を南三陸町に寄付。

発行:ADK南三陸町復興支援プロジェクト

発売:日本文芸社

